

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者(職責)は理念を共有し実践に向けて日々取り組んでいます	法人の運営指針に基づきホーム独自の理念が作られ、来訪者にもわかりやすくホールに掲示されている。職員は話し合いの中で理念を深めながら具体的なケアにつなげている。理念にそぐわない言動が職員に見られた時には、管理者が助言するようにしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所は地域の一員として、行事や地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めています	法人として三沢区に区費を納めている。市報が届き、川岸地区行事のお知らせもある。本年度は新型コロナウイルスによる感染症対策のために行えていないが、通常であれば、地域のボランティアによる大正琴・マジックショー・落語などが行われ、また、中学生の職場体験も受け入れ交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所や職員の状況や力に応じて地域の暮らしに何か手助けがないか話し合い、取り組んでいます		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、利用者サービスの取り組み状況等について報告や話し合いを行っています	定期的に開催している。メンバーは区長、民生委員、介護相談員、市介護福祉課職員、協力病院職員、法人代表、ホーム職員などで構成されている。家族の出席は少ないが利用者の様子や活動状況を報告し、活発な意見交換が行われている。出された意見や情報は職員会議等で共有し運営に反映している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当との会議以外にも出かける機会をつくり、市町村とともにサービスの向上に取り組んでいます	介護認定更新時の面接は職員が対応し市職員との連携が取れている。広域で開催されるケアマネジャー連絡会に出席し情報交換もしている。月2回、介護相談員2名が来訪し利用者と話した後、何かあれば口頭や文書で意見を頂き運営に活かしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	落ち着かない様子が見られた場合、付き添うなどして抑制しないことを職員が周知徹底しています	ホール入り口は安全のために施錠されているが玄関は開錠されている。外出傾向の強い方には職員が寄り添い話しながら歩き気分転換を図っている。法人として身体拘束委員会が定期的に関わっており、拘束をしないケアを実践している。	

グループホーム高尾

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入居者の行動障害へのスピーチロックについて話し合い、虐待をしていないか確認しています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度などほとんど知識がなく、これから勉強して学びたいと思います		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時は、契約書の説明を行い、同意のもと入居いただいています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	事業所には意見箱を設置しています 外部の人にも伝えられる機会を作りたいと思っています	半数以上の方は意見や要望を言うことができる。言葉で表出できない時は表情や態度で押し量りながら思いを受け止めている。家族の来訪は週1回から半年に1回と様々だが、その日の担当者が日頃の利用者の様子を伝え意見・要望を伺うようにしている。最近では、家族の定期的な交流やホーム便りはないが個別に適宜、意見を頂いている。ホームとして「毎日見ようノート」があり、利用者や家族等からの意見・要望を記録し職員間で情報を共有している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回の職員会議で意見交換などして、話し合う機会を設けています	毎月1回、火曜日1時半から3時に職員会議を行っている。法人や委員会からの連絡、利用者のケアを含めて課題解決に向けて活発に意見が出されている。欠席者は会議録により内容を共有している。人事考課制度は特にないが、個々の面接があり発言することはできるようになっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境条件の整備に努めている	自己課題も整理し、個人面談を行いたいと思います		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	計画的に職員研修を行ってスキルアップにつなげていきたいと思っています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ほかの事業所へ研修に行き、情報交換などを行ってサービスの質の向上に努めたいと思っています		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者と関わる際には、不安なことや要望などないか自然の会話から聴くようにしています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	不安なことなど家族に聞いて、安心してもらえるように心がけています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族に答えられるように対応しています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常に対等の立場で暮らしを共にする者同士としての関係を築いています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族からの電話をつないだり、家族と情報を共有しています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出する機会を作ったり、手紙のやり取りや電話を自由にできるように支援しています	友人の来訪があり居室で楽しく過ごす利用者がいる。その際の飲食の持ち込みは自由にし気軽に会いに来ていただけるように支援している。現在はコロナ感染症の影響で交流や外出が制限されているが、通常であれば、季節に合わせ諏訪湖一周ドライブなどに出かけ、馴染みの、懐かしい場所をめぐるような機会も作っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	集団レク、個人レクや調理を一緒に行うことを設けたり、常に職員が声がけするように心がけています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談などがあれば応じています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人または家族から得た情報を記入し職員間で共有しています 本人からの聞き取りが難しい場合は、本人の気持ちを大事にするようにしています	半数以上の方は自分の意向を伝えることができる。意思表示の難しい方には声がけしながら、押し付けずに自由にして頂く中で気持ちを受け止めケアするように心がけている。職員は利用者にとって自由が一番と考え、見守りながら関わっている。利用者の情報は記録を通して共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族に聞き、情報収集に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員は日々の変化を毎日書く記録や申し送り等で共有し把握するように努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画に基づいたケアに心がけています	職員一人が利用者一人を担当し、生活全般からアセスメントまで支援している。職員会議でカンファレンス、モニタリングを行い、3ヶ月に1回介護計画の見直しをしている。計画作成担当者が家族の窓口となり意見を伺って作成している。状態に変化が見られた時には随時、見直しをしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	センター方式を取り入れて、日々の気付き等をしっかり記録しています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	職員会議や法人内研修を行い、その時々の問題に足して常に模索し、アイデアを出しながら対応しています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元の区の文化祭等への参加を検討しているため、それを機により地域との関わりを深めたいと考えています		

グループホーム高尾

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	動ける方には通院介助しています 入居者の状態に応じ訪問診察をしています	利用前のかかりつけ医を継続されている方が若干名おり、家族が通院介助を行っている。他の利用者はホーム協力医による月2回の訪問診療を受けている。協力医は3名おり、それぞれ利用者を担当しているが、担当以外の方の相談にも応じてくれる。協力病院の訪問看護師が週1回木曜日に来訪し健康チェックを行い、何かあれば主治医との連携もスムーズに行くように体制を整えている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常に介護職員と看護職員が連携をとり、適切な受診や看護が受けられるようにしています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者とカンファレンスを行い、関係作りに努めています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	加速の意向を踏まえた上で看護指針意思の確認書等を取り交わしています 実際看取りとなればチームを組み支援しています	利用契約時に本人・家族の意向を確認している。状態の変化に応じて医師より看取り指針の説明がある。家族の希望に沿った支援ができるように、協力医と連携をとりながらホームとして最大の支援体制を整えている。今までに8件の看取りを経験しており、利用者が慣れ親しんだホームでの看取りについて更に満足していただけるように環境を整えようとしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時に対応できるようにマニュアルを作り定期的に勉強会をしています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を行い体制を整えています 地域との共同体制は現時点では難しい状況だが防災会議への参加を考えています	年2回、避難訓練を実施している。火災、地震、土砂災害、また、夜間を想定して計画されている。ホーム建物の後ろが山、避難経路には急坂道がある等、防災上の課題もあるが、法人の防災委員会を中心に計画書や避難経路図を作り上げている。コロナ感染症終息後には利用者、職員、地域の方を含めた訓練を検討している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に尊敬の念を持ち接し、言葉遣いにも気を付けています	名前は苗字に「さん」付けでお呼びしている。居室に入る時にはノックと声がけをしている。法人の尊厳や接遇に関する研修で、人格を尊重した対応について学んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	外出するときは本人の意向を優先し、自分の考えを伝えられるようにしています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の気持ちを大切に、やりたい事、やりたくない事を的確に判断しながら対応しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	清潔に心がけて、また本人の好みの身だしなみを尊重し、自分で決められるように援助している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に買い物に行き、食器を選んでもらった、食事作りや盛り付け、片付けを一緒に行っています	内容により刻みにする方も含め、ほとんどの方が普通食を自力で摂取されている。献立はその日の担当職員が食材を見て立てている。利用者は買い物、皮むき、味見、お膳運び、食器洗い、食器拭き等のできるお手伝いを積極的にしている。誕生日や行事日は特別メニューを、ドライブに出かけた時は外食を楽しんでいる。食事を楽しみにしている利用者のために職員も一緒に楽しみながら「なんちゃって雑煮」等アイディア料理を考えている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人ファイルに食事量や水分量を毎日記録して様子を見ています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施 歯科受診は必要時に対応しています		

グループホーム高尾

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	パッドの試供品を利用し、個人個人に合ったものを使用しています 排泄回数が少ない人は時間で誘導しています	殆どの方がリハビリパンツを使用されている。全介助の方は若干名で他の方も見守りや一部介助が必要となっている。排泄表でパターンをつかみ声がけや誘導を行っている。トイレの場所はわかりやすく、トイレの横向き表示プレート、花紙で作った花などを目印にしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄状況を記録しています 水分補給に努め、野菜を多めに摂れるメニュー作りになっています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2回は入浴しています 1番風呂を希望する入居者には、できるだけ希望に添えるようにしています	自立の方は若干名で、全介助の方は深めの浴槽をまたぐのが困難なためにシャワー浴に対応している。シャワー浴の時は足だけでも湯に浸かれるようにと足湯の工夫をし温めている。「温かかった」という利用者のうれしそうな声が聞かれている。法人他施設の特浴も考えているが、送迎等の課題があり検討中である。出身地が温泉地で温泉好きの方が多く、入浴を拒む方は今のところいない。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	希望に添えるように休みたい時は休めるようにしています 昼間でも疲れが見える時は休んでもらっています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに薬の内容表があるので、職員は確認するようにしています 誤薬が無いように2人以上で確認しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の意向をサービス計画に盛り込み、ドライブ・塗り絵・編み物など個々に合わせた支援をしています		

グループホーム高尾

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩やドライブに心がけています 四季に合った場所や思い出に残っている所へ行くようにしています	外出時、自立されている方は若干名で、車いす使用の方が三分の一、あとの方は手引き歩行で移動している。日常的な外出として同じ法人運営の隣にあるケアハウスでのイベントに参加している。玄関前にはベンチが置かれて外気浴の場となっている。行事外出では四季折々のお花見や諏訪湖一周ドライブなどに出かけていたが、本年はコロナ感染症のために外出が難しい状況が続いている。玄関の下駄箱には利用者の靴が置かれており、外出支援が日常的に行われていることが窺えた。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は持っていません		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を所持したり、家族本人の希望があればつなぐようにしています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季に合わせた飾りつけをしたり、生花を置いたり、共用空間は清潔を心がけ、居心地の良い環境作りをしています	玄関フロアには紫陽花が一輪生けられて、清潔感と共に季節を感じることができた。ホール兼食堂を挟んで居室が並び、その廊下は37mと表示されて歩行運動の場ともなっている。ホールは明るく二つのテーブルが程よい距離で配置されている。時折、鳥の鳴き声が聞こえる中で利用者同士笑顔で話し込んでおり、落ち着いた空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関で風にあたりたり、ソファで横になったり、個々で過ごせるスペースがあります		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた物や家族の写真、家具などを置いています	居室には押入れ、洗面台、壁用フック金具が備え付けられている。ベッドや机・イス、テレビ等馴染みの物が持ち込まれ、それぞれの好みに合わせて置かれている。フックには衣類、壁には作品が飾られるなど、思い思いの生活空間が出来上がっており、居心地の良さが感じられた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	床はバリアフリーになっており、必要な場所には手すりが付いています トイレの扉には「トイレ」と書いた紙を貼っています		